

日本社会情報学会通信

Vol.20 No.3 2005.8.10

日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

* 本学会通信の掲載内容は、HPに掲載

☆ 第20回全国大会開催のご案内 ☆

第20回全国大会実行委員会

委員長 真田英彦 (追手門学院大学)

本学会の第20回全国大会を、下記の通り開催いたします。

開催内容については、既にお手元にお送りしてあります「第20回全国大会プログラム」の通りでございます。会員の皆様におかれては、学・官・産・各界の方々をお誘い合せうえ、多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

◆◇社会情報学フェア2005◆◇

社会情報学は、情報学、社会科学の境界に広がる学問領域です。

問題意識や研究成果を共有し、社会情報学の将来を展望するため、社会情報学に関わる多様なイベントを集めた社会情報学フェアを開催します。フェア主催の招待講演や展示などが予定されている他、日本社会情報学会の合同全国大会が開催されます。

[開催期日] 平成17年9月12日(月) 9:40~20:00 (受付開始 9:00)
*会員総会・表彰式 16:30~17:30
*レセプション 18:30~20:00

平成17年9月13日(火) 9:20~19:30 (受付開始 9:00)

平成17年9月14日(水) 9:20~17:30 (受付開始 9:00)

[会場] 京都大学吉田キャンパス 百周年時計台記念館ほか

[大会事務局] 情報システム監査棟 (JASI関西支部)

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-4-50 真和ビル9階

Tel 06-6395-7665 Fax 06-6395-7666 (直通 Tel 06-6395-7607)

[社会情報学フェア2005参加申込]

<http://www.lab7.kuis.kyoto-u.ac.jp/sifair2005/> から

早期申し込み8月10日まで又は

通常申し込み8月31日までにお申し込み下さい。

[参加費振込口座]

参加費は銀行振込にて受け付けます。期限までにお振込下さい。

銀行名:みずほ銀行 支店名:百万遍支店 口座種別:普通預金

口座番号:2432191 口座名義:社会情報学フェア2005

[お願い]

申込時に事務局が発行する**受付番号**を必ず振込人のお名前の前に付けてお振込下さい。

[参加費とレセプション]

費目	参加区分	早期申込価格 (8月10日まで)	通常申込価格 (8月31日まで)
社会情報学フェア2005 参加費	一般	5,000円	7,000円
	学生	1,000円	2,000円
無料イベントのみ		0円	0円
レセプション	参加	5,000円	5,000円
	不参加	0円	0円

☆ 会員総会開催について ☆

平成 17 年度・会員総会が、下記の通り開催されます。

正会員の方々には、既に、別途ご通知を申し上げておりますが、是非ご参加の上、本学会事業計画等にご助言・ご提言を戴きたくお願い申し上げます。

なお、今回は、新会長・役員承認等々の重要な議事がありますので、万障お繰り合わせのうえ、ご出席を重ねてお願い申し上げます。

[開催期日] 平成 17 年 9 月 12 日 (月) 16:30~17:30

[会 場] 京都大学吉田キャンパス工学部物理系校舎 3 1 3

*第 20 回全国大会開催会場

[議 事] 平成 17 年度 (事業報告、収支決算報告)

平成 18 年度 (事業計画案、収支予算案)

新会長・新役員承認、他

☆ 第 20 回全国大会に次の JASI 主催ワークショップが追加されました ☆

出席を予定される方は (sakurai@ls.meijigakuin.ac.jp) までご一報をお願いします。

1 日目 9 月 12 日 (月) 10:00-12:00

J A S I 主催ワークショップ (百周年時計台記念館 国際交流ホール II)

テーマ: 「情報セキュリティの法と倫理」

オーガナイザ: 櫻井成一郎 (明治学院大学)

(報告者) 林紘一郎 (情報セキュリティ大学院大学 副学長)

☆ 次期理事選出結果報告 ☆

【次期(任期：平成18～19年度)理事選出投票結果】

平成17年5月21日より6月20日に行われた理事選出投票の開票結果を報告致します。

平成17年7月1日 理事選挙管理委員会 委員長 小菅敏夫

<平成17年6月24日開催選挙管理委員会にて開票>

得票数	順位	氏名	所属機関・部門	承諾可否
72	1	太田 敏澄	電気通信大学大学院情報システム学研究所 教授	承諾
71	2	清原 慶子	三鷹市 市長	承諾
52	3	茶谷 達雄	都市情報システム研究所 所長	承諾
50	4	前田 隆正	「あすのまち・三鷹」推進協議会 会長(三鷹市・情報政策コーディネーター)	承諾
47	5	島田 達巳	摂南大学経営情報学部 学部長・教授	承諾
46	6	遠藤 董	学習院大学法学部 教授	承諾
42	7	國領 二郎	慶応義塾大学環境情報学部 教授	承諾
39	8	須藤 修	東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授	承諾
37	9	辻井 重男	情報セキュリティ大学院大学 学長	承諾
34	10	福田 豊	電気通信大学人間コミュニケーション学科 教授	承諾
32	11	石田 亨	京都大学情報学研究所社会情報学専攻 教授	*辞退
32	11	熊田 禎宣	千葉商科大学政策情報学部 教授	承諾
31	13	五藤 寿樹	聖徳大学人文学部現代ビジネス学科 助教授	承諾
30	14	小林 宏一	東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科 教授	承諾
28	15	根本 敏則	一橋大学大学院商学研究科 教授	承諾
28	15	宮崎 緑	千葉商科大学政策情報学部 助教授	承諾
23	17	小郷 直言	大阪大学大学院経済学研究科 助教授	承諾
23	17	富山 慶典	群馬大学社会情報学部 教授	承諾
21	19	坂野 達郎	東京工業大学大学院社会理工学研究科 助教授	承諾
21	19	平林 幹朗	キャリア・アップ企画 代表	承諾
21	19	山森 俊彦	エヌ・ティ・ティ・データクリエイション(株) 代表取締役社長	承諾
20	22	小向 鋭一	東洋オフィスメーション(株) 常務取締役	承諾
20	22	廣松 毅	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 教授	承諾
20	22	岡田 定	岡山理科大学総合情報学部社会情報学科 教授	*辞退
19	25	鳩山 由紀夫	衆議院議員	承諾
18	26	安本 哲之助	情報システム監査(株) 参与	承諾
18	27	真田 英彦	追手門学院大学経営学部 教授 総合情報教育センター長	承諾

*所属は、異動により6月末現在で一部変更。

※1 選挙人 420名、投票者 150名(投票率 35.7%)、有効投票数 1,242票

※2 上記の得票数・順位により、上位25名の会員が、「理事就任承諾書」による承諾をもって次期理事として確定しました。

※3 同数の順位は、理事選出規則にもとづき、選挙管理委員会で「クジ引き」により決定。

【会長推薦理事】 *アイエ順

太田会長の推薦による次期理事が下記の通り決まりました。

	氏名	所属期間・部門	承諾可否
1	安藤 明之	東京経済大学コミュニケーション学部 教授	承諾
2	今井 雄一	トッパン・フォームズ(株) 執行役員・企画本部長	承諾
3	内山 哲治	名古屋産業大学環境情報ビジネス学部 教授	承諾
4	海野 忍	(株)NTTデータ 執行役員 第三公共システム事業本部長	承諾
5	小菅 敏夫	デジタルハリウッド大学 教授	承諾
6	財部 忠夫	中村学園大学流通科学部 教授	承諾
7	刀川 眞	(株)NTTデータ 開発本部システム科学研究所 主任研究員	承諾
8	玉井 弘明	東日本電信電話(株) ビジネスユーザ事業推進本部 取締役副本部長	承諾
9	富永 英義	早稲田大学大学院国際情報通信研究科 教授	承諾
10	中井 豊	芝浦工業大学システム工学部 教授	承諾
11	長島 雅則	(株)インフォマティクス代表取締役社長	承諾
12	濱田 純一	東京大学大学院情報学環	承諾
13	平野 浩	学習院大学法学部政治学科 教授	承諾
14	藤原 博彦	明治大学情報コミュニケーション学部 助教授	承諾
15	渡辺 慶和	岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授	承諾

※ 15名の会員が、「理事就任承諾書」による承諾をもって会長推薦による次期理事として確定しました。

☆ 理事会報告 ☆

【第4回理事会報告】

- 日時 平成17年5月20日(金) 18:00-20:00
- 会場 電気通信大学 [P棟 5F 517号室]
- 出席 8名(順不同・敬称略) 太田、小郷、根本、遠藤、福田、小菅、尾関、前田
- 議事
1. 委員会報告
 - ・総務委員会
 - ・情報政策研究会
 - ・企画委員会
 - ・学術委員会
 - ・選挙管理委員会
 2. 理事選挙管理委員会について
 3. 全国大会について
 4. ロゴマークについて
 5. その他

配布資料

- 1 第3回理事会議事録
- 2 総務委員会報告
- 3 収支報告
- 4 会員内訳表
- 5 宛先不明者・未納会員
- 6 入会・退会
- 7 企画委員会報告
- 8 学術委員会報告
- 9 理事候補選出結果
- 10 全国大会資料1-3、タイムテーブル、会場確保状況、準備日程表
- 11 JASMIN2005年シンポジウム

議事概要

- 1 資料1にもとづき、第3回理事会議事録が承認された。
- 2 資料2にもとづき、理事選挙人名簿、過年度未納会員への対応、HP更新、パンフレット完成が報告された。
- 3 資料3にもとづき、5月20日現在収支が報告された。
- 4 資料4にもとづき、会員内訳が報告された。
- 5 資料5にもとづき、宛先不明者、本年を含む未納会員が報告された。
- 6 資料6にもとづき、入会16名、退会2社・7名が承認された。
- 7 資料7にもとづき、実施済の第96回、第97回、第98回定例研究会情報政策研究会合同シンポジウムと予定の第99回、第100回定例研究会が報告された。
- 8 資料8にもとづき、学会誌発行状況、論文投稿状況、学会誌チュートリアル、学位論文賞審査応募状況が報告された。

学会発表、データベース(J-STAGE)の移行につき、IDやパスワードは設定せず、学会員を含め、誰でもアクセス可能とすることとした。

なお、この件につき、掲載者において不都合のある場合には、学術委員長宛、事務局に連絡するようHP、学会通信で周知することとした。

- 9 資料9にもとづき、理事候補者選出結果が報告された。

- 10 資料10にもとづき、応募状況、タイムテーブル、会場確保状況、準備日程等の進捗報告がされた。
- 11 ロゴマーク制定については、今後の課題とすることとした。
- 12 資料11にもとづき、JASMIN2005年シンポジウムへの後援が承認された。
- 次回は7月1日(金)18:00へ日程変更。

【第5回理事会報告】

日 時 平成17年7月1日(金)18:00-20:00

会 場 電気通信大学 [P棟 5F 517号室]

出 席 13名

太田、遠藤、根本、遠藤、小郷、福田、小菅、前田、安藤、五藤、富永、山本、和泉

- 議 事
1. 委員会報告
 - ・総務委員会
 - ・情報政策研究会
 - ・企画委員会
 - ・学術委員会
 - ・選挙管理委員会
 2. 理事選挙管理委員会について
 3. 全国大会について
 4. その他
 - ・事務委託について
 - ・協賛依頼について

配布資料

- 1 第4回理事会議事録
- 2 総務委員会報告
- 3 収支報告
- 4 会員内訳表
- 5 宛先不明者・未納会員
- 6 入会・退会
- 7 情報政策研究会報告
- 8 企画委員会報告
- 9 理事選挙投票結果
- 10 全国大会資料1-5

回覧資料

- ① 入会申込書4名分
- ② 情報セキュリティ学際シンポジウム協賛依頼
- ③ 第10回空間情報シンポジウム2005パンフレット(後援/日本社会情報学会)
- ④ 横断型基幹科学技術研究団体連合2005年度総会・NPO法人設立総会の議事録

議事概要

- 1 資料1にもとづき、第4回議事録が承認された。
- 2 資料2にもとづき、総務委員会よりホームページ更新、会員番号の付与が報告された。
- 3 資料3にもとづき、現在までの収支報告がなされた。
- 4 資料4にもとづき、会員内訳として会費回収率、メール通知、支部の内訳が報告された。
- 5 資料5にもとづき、宛先不明者、3年未納、2年未納会員が報告された。

過年度未納者の退会と除名の扱いについては、総務委員会で協議することとした。

- 6 資料6にもとづき、入会会員が承認された。退会者はなし。
- 7 資料7にもとづき、第5回情報政策研究会実施と12月5日(月)恒例の年度末交流会(予定)が報告された。
- 8 資料8にもとづき、企画委員会より第99回定例研究会実施と第100回定例研究会(予定)の報告がなされた。
- 9 学術委員会より、学会誌17-1進捗報告、論文投稿状況等の報告がなされた。
- 10 資料9にもとづき、選挙管理委員会より、開票結果による理事候補25名が提示され、承認された。会長推薦による15名は地域性、学会の方向性などを考慮し、次回理事会に提示することとなった。
- 11 資料10にもとづき、第20回全国大会、社会情報学フェアについての進捗が報告された。今回の広報活動として関西近隣市町村へパンフレットを郵送することとした。
- 12 その他として、来年度よりNP0法人iコミュニティ(代表和泉恵子)への事務委託(年間126万円)が提案・承認された。
- 13 情報セキュリティ学際シンポジウムへの協賛が承認された。

次回は7月29日(金)18:00 電気通信大学P棟517

【第6回理事会報告】

日時 平成17年7月29日(金)18:00-20:30

会場 電気通信大学 [P棟 5F 517号室]

出席 14名(順不同/敬称略)

太田、遠藤、前田、福田、安藤、島田、茶谷、小林、五藤、小向、小郷、尾関、小菅、和泉

- 議事
1. 委員会報告
 - ・総務委員会
 - ・情報政策研究会
 - ・企画委員会
 - ・学術委員会
 - ・選挙管理委員会
 - ・表彰委員会
 2. 次期理事について
 3. 平成17年度収支報告案
 4. 平成18年度予算案
 5. 会費滞納会員、宛先不明会員への対応
 6. 全国大会について
 7. その他

配布資料

- 1 第5回理事会議事録
- 2 総務委員会報告
- 3 17年度収支報告案
- 4 会員内訳表
- 5 宛先不明者・未納会員
- 6 入会・退会
- 7 18年度予算案
- 8 情報政策研究会報告
- 9 企画委員会報告

- 10 表彰委員会報告
- 11 京都府推薦の理由書
- 12 次期理事選挙投票結果および会長推薦理事
- 13 会長選出投票要領
- 14 全国大会資料 1
- 15 全国大会資料 2
- 16 受託事業見積書・定款 (NPO 法人 i コミュニティ)

回覧資料

- 1 入会申込書

議事概要

- 1 資料 1 にもとづき、第 5 回理事会議事録が承認された。
- 2 資料 2 にもとづき、過年度未納者の退会と除名の扱いについては、次年度総務委員会での継続協議することが報告された。
- 3 資料 3 にもとづき、7 月 29 日付の収支が報告された。
- 4 資料 4 にもとづき、会員内訳として会費回収率、メール通知、支部の内訳が報告された。
- 5 資料 5 にもとづき、宛先不明者、3 年未納、2 年未納会員が報告された。
- 6 資料 6 にもとづき、入会・退会会員が承認された。
- 7 資料 7 にもとづき、平成 18 年度予算案 (たたき台) が報告された。
事務費について、項目立てや備考からより明確にすることが提案された。
- 8 資料 8 にもとづき、12 月 5 日 (月) 恒例の年度末交流会 (予定) が報告された。
- 9 資料 9 にもとづき、企画委員会より第 100 回定例研究会の報告がなされた。
- 10 学術委員会より、第 6 回、第 7 回委員会報告がなされた。
- 11 資料 10 にもとづき、17 年度各学会賞が承認された。
各学会賞についての周知方法、振興策を今後、協議していくことが提案された。
- 12 資料 11 にもとづき、社会情報システム貢献賞推薦候補が提示され、協議の結果、全員一致で承認された。
- 13 資料 12 にもとづき、投票による次期理事 25 名と会長推薦による次期理事 15 名が承認された。
- 14 資料 13 にもとづき、会長選挙について得票数 1 位の会長候補者が 2 名以上の場合の対応が協議され、決選投票を行うことと決定した。これに伴い、会長選出投票期間を 8 月 1 日～10 日 (必着)、同開票を 8 月 12 日、決選投票が行われる場合には、その投票期間を 8 月 13 日～22 日 (必着)、同開票を 8 月 24 日と、それぞれ予定することとした。
- 15 資料 14 にもとづき、第 20 回全国大会、社会情報学フェアについての進捗が報告された。協賛団体、団体会員への従来の招待については、今回は窓口がフェアとなるため協賛団体のみとすることが協議の結果、承認された。
- 16 資料 15 にもとづき、第 20 回全国大会研究発表論文集についての報告がされた。
- 17 その他として、
 - (1) 資料 16 にもとづき、来年度の学会事務につき、NPO 法人 i コミュニティ (代表和泉恵子) への事務委託 (年間 126 万円) と委託の内容についての報告がされた。
 - (2) 次期開催校は、学習院大学とすることとした。

次回は 8 月 26 日 (金) 17:00 電気通信大学大学会館 3 階ハルモニア

17 年度第 1 回評議委員会・第 7 回理事会の合同開催

研究会報告

[平成17年度 第4回情報政策研究会]

日時 平成17年5月15日(日)13:00~17時00分

会場 全国町村会館

企画委員会との合同シンポジウム開催(詳細は第98回定例研究会 参照)

[平成17年度 第5回情報政策研究会]

日時 平成17年6月 15:00~16:30

会場 中央大学駿河台記念館302号室

テーマ: 「u-Japan 政策について」

講師 総務省情報通信政策局総合政策課 課長 吉崎 正弘

[第98回定例研究会]

日時 5月15日(日)13:00-17:00

会場 全国町村会館(<http://www.zck.or.jp/kaikan/access/index.htm>)

協賛 情報通信月間推進協議会

テーマ 「多層化するITのインパクトとコミュニティ」

プログラム

総合司会 山村 俊弘

13:00 開会・会長挨拶

太田 敏澄 (電気通信大学)

13:00 研究発表1 「“場”を創る」クラブのネットワークポテンシャル」

~FC東京を事例として~

久保田 敦(FC東京)

13:30 研究発表2 「ユビキタス地域社会における電子自治体の機能と役割」

小林 隆(東海大学/慶應義塾大学SFC)

14:00 研究発表3 「インテリジェント・コミュニティ創成のための戦略デザイン」

前田 隆正(「あすのまち・三鷹」推進協議会/三鷹市情報政策コーディネータ)

14:30 研究発表4 「テクノシオパラダイムの生成 - i コミュニティの展望 - 」

福田 豊(電気通信大学)

15:00 シンポジウム

コーディネータ 小林宏一 東洋大学

パネリスト 伊藤 達也 内閣府特命大臣(金融)

福田 豊 電気通信大学

前田 隆正 「あすのまち・三鷹」推進協議会

小林 隆 東海大学/慶應義塾大学SFC

田中 秀幸 東京大学

17:00 閉会

[第99回定例研究会]

日時: 平成17年6月10日(金)13:30~17:00

会場: 長崎シーボルト大学

テーマ: 「ユビキタス社会の諸相 - 地域における生活空間と情報化 - 」

総合司会 山村俊弘(株)アプライドリサーチ研究所)

第1部 『ユビキタス社会と地域情報化』

1-1 「関西における地域情報化の取り組み 地域の情報をどう活性化につなげるか」

講師 辻 正次 (兵庫県立大学)

コメンテータ 福田 豊 (電気通信大学)

第2部 『ユビキタス社会における地理情報システム (GIS) アプリケーションの可能性』

北川正巳 (株)パスコ)

2-1 「教育分野における GIS 利用の可能性」

全炳徳 (チョンピョンドク) (長崎大学教育学部助教授)

2-2 「地域情報源としての GIS」

2-3 「長崎県のユビキタス社会への取り組み」

島村秀世 (長崎県総務部参事監 (情報政策担当))

第3部 パネルディスカッション

パネリスト 辻 正次、福田 豊、全炳徳、島村秀世、北川正巳

コーディネータ 河又貴洋 (長崎県立シーボルト大学)

[第100回定例研究会]

日時 7月23日(土) 12:30-16:30

会場 株式会社富士通総研5階大会議室

世話人 日本社会情報学会企画委員会委員長 福田 豊 (電気通信大学)

企画委員 国島 義明 (株式会社富士通総研) 上原 施門 (山形県立米沢女子短期大学)

テーマ 「生活者の視点と医療情報」

プログラム

総合司会 国島 義明 (富士通総研)

12:30 開会・会長挨拶 電気通信大学教授 太田 敏澄

12:40 研究発表1 「病院機能評価制度について」(仮題)

河北総合病院理事長 河北 博文

13:10 研究発表2 「健康づくりふるさと構想」の推進について」

千葉県総合企画部 戦略プロジェクト推進室 副参事 中澤 正道

13:40 研究発表3 「特定“非営利活動東京地域チーム医療推進協議会について」

国際医療福祉大学教授 阿曾沼元博

14:10 研究発表4 「HOT projectについて」

東京都医師会理事 (医療情報担当) 大橋 克洋

14:40 研究発表5 「医療コーディネーター」

日本医療コーディネーター協会会長 嵯峨崎 泰子

15:20 から 16:20 パネルディスカッション

コーディネーター 阿曾沼元博 (国際医療福祉大学)

パネリスト 研究発表者各位

16:20 閉会挨拶 企画委員会委員長 電気通信大学教授

福田 豊

委員会報告

[総務委員会]

[1]第2回総務委員会

日 時 平成 17 年 7 月 15 日 (金) 17:00~17:30

会 場 三鷹産業プラザ 2 階

議 事

- 1 平成 17 年度収支報告案
- 2 平成 17 年度事業報告
- 3 平成 18 年度事業計画案
- 4 未納会員、宛先不明者への対応について

[情報政策研究会]

[1]第2回会合

日 時 平成 17 年 5 月 20 日 (水) 17:30-

会 場 霞ヶ関ビル

議 事 「情報政策研究会の在り方」

- 1 現状の課題整理と確認
- 2 今年度および今後の情報政策研究会について
- 3 開催と主な検討項目

[学術委員会]

[1]第5回学術委員会

日 時 平成 17 年 5 月 16 日 (月) 18:15-19:15

会 場 東京大学駒場キャンパス 2 号館 3 階 306 号室

議 事

- 1 前会議事録の承認
- 2 学会発表データベース (J-STAGE) の移行について
- 3 学会ホームページの整備について
- 4 全国大会
- 5 表彰関連

[2]第6回学術委員会

日 時 平成 17 年 7 月 4 日 (月) 18 時 15 分 ~ 19 時 25 分

会 場 東京大学駒場キャンパス 2 号館 3 階 306 号室

議 事

- 1 前会議事録の承認
- 2 学会発表データベース (J-STAGE) の移行について
- 3 学会ホームページの整備について
- 4 全国大会
- 5 表彰関連

[3]第7回学術委員会

日 時 平成 17 年 7 月 29 日 (金) 17:00~18:00

会 場 電気通信大学 P 棟 517 号室

議 題

- 1 前回議事録の承認

- 2 学会発表データベースの移行について
- 3 学会ホームページの整備について
- 4 全国大会について
- 5 表彰関連

[表彰委員会]

[1]第 1 回表彰委員会

日時 7 月 22 日 (金) 18:00-19:30

会場 電気通信大学 P 棟 517

議題

- 1 各賞候補者推薦状況について

☆ 三鷹市がインテリジェント・コミュニティ世界一に ☆

16年度日本社会情報学会 社会情報システム貢献賞を受賞いたしました三鷹市が6月、インテリジェント・コミュニティ世界一に選ばれました。



WTA/ICFで世界一に選ばれた三鷹の関係者
(写真提供・三鷹市)

6月14日午後2時(現地時間)に、ニューヨークで開催されたワールド・テレポート・アソシエーション(WTA:世界テレポート連合:注1)の内部組織である、インテリジェント・コミュニティ・フォーラム(ICF:注2)の会議で、三鷹市が2005年インテリジェント・コミュニティ・オブ・ザ・イヤー(2005年の世界一)に選ばれました。

インテリジェント・コミュニティとは、ブロードバンド通信を活用して、経済や文化、社会などを発展させた地域のことで、WTA/ICFでは、1999年から世界の手本となるような地域を選び、表彰してきました。

今年1月19日(現地時間)に、清原市長、久保田市議会議長(当時)が出席したWTA/ICFのハワイ会議で、2005年のインテリジェント・コミュニティ・トップ・セブンが発表され、三鷹市はその1つに選ばれていました。



トップ・ワンのトロフィー(左はトップセブンの盾)
(写真提供・三鷹市)

今回のニューヨーク会議には、三鷹市から清原市長

の代理として河村第1助役と、受賞対象となった活動を担っているNPOや事業者など13人が参加しました。13日にトップ7の代表者によるプレゼンテーションとパネルセッション、並びにトップ・セブンの表彰(クリスタル盾授与)が行われました。

今回の受賞は、三鷹という地域が市民や研究機関、企業、行政の協働により活性化していることが評価されたものです。「SOHO CITY みたか構想」から生まれたSOHOやNPOとの協働、コミュニティ行政や三鷹市の基本計画策定時の「市民プラン21会議」での市民との協働、「あすのまち・三鷹推進協議会」や「三鷹ネットワーク大学」での市民、大学・研究機関、企業との協働など、多くの「協働」とその成果が評価につながったとICFは発表しています。

年	トップ7	トップ1
1999	-----	シンガポール
2000	-----	ラグレーンジ (米国)
2001	バリオ (マレーシア)、エニス (アイルランド)、ラグレーンジ (米国)、ネバダ・ミズーリ (米国)、ニューヨーク (米国)、シンガポール、サンダーランド (英国)	ニューヨーク (米国)
2002	バンガロー (インド)、カルガリー (カナダ)、フロリダハイテクコリドー協議会、ラグレーンジ (米国)、ソウル (韓国)、シンガポール、サンダーランド市 (英国)	カルガリー (カナダ) ソウル (韓国)
2003-2004	グラスゴー (英国)、スポーカン(米国)、サンダーランド市 (英国)、台北市 (台湾)、ヴィクトリア州 (オーストラリア)、ウェスタン・ヴァレー地区 (カナダ)、横須賀 (日本)	グラスゴー (英国)
2005	イシー・ル・モリノー(フランス)、三鷹(日本)、ピライ(ブラジル)、シンガポール、サンダーランド(英国)、天津 (中国)、トロント(カナダ)	三鷹(日本)

□注1 WTA (ワールド テレポート アソシエーション) とは 各国で情報通信や経済開発に関わる会員組織に対し関係するサービスを統合することにより効率的に事業を行えるよう支援する世界組織。1985年設立。116団体 日本ではNTT、東京都などの企業、自治体が参加。事業分野としては、衛星通信型テレポートと地域開発型テレポートの2つ。テレポートとは？世界各国の基幹電気通信媒体へアクセスする施設(テレポートセンター等)

□注2 ICF (インテリジェント コミュニティ フォーラム) とは WTAの2分野のうち、地域開発型テレポート活動を行う組織。WTAではインテリジェント コミュニティの表彰は1999年から行っているが、2001年から正式に内部組織化され、表彰はICFが担当することとなった。

○ 関連するサイト

ICFのサイト

<http://www.intelligentcommunity.org/html/TopSeven.html>

2005年インテリジェント・コミュニティ・オブ・ザ・イヤーのサイト

http://www.intelligentcommunity.org/art/pdf/ICF_2005_Recipients.pdf

WTAサイト

<http://www.worldteleport.org/>

事務局だより

平成17年度も終わろうとしております。

各会員の皆様のご協力により、日頃、事務局業務へも一方ならずご協力を戴き厚く御礼申し上げます。

§ 会費納入のお願い

今年度の会費をご請求させて頂きましたが、まだ、ご事情により納入戴いていない会員の方々がいらっしゃいます。

特に、過年度の会費が未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

通信費削減への協力のお願い

各種ご通知・ご案内を封書にてさせて頂いて戴いておりますが、少しでも通信費予算を削減し、より充実した研究会・学会誌等に充当致したく、メールでのご案内を考えております。

主旨ご理解の上、メールでの各種案内が可能な会員の方々のご協力をお願い致します。

ご承諾戴ける会員の方は、別紙「メール案内承諾書」にてご返信のほどお願い致します。

§ 平成17年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週2日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。

会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。 宛先 FAX 0422-40-2062 E-mail jasi@jade.dti.ne.jp